



日本共産党 県会議員

きだ

KIDA

結

YUI

● 県会だより 2014 年秋季号

〈きだ結県会議員事務所〉〒658-0081 神戸市東灘区田中町3丁目11-1 TEL.078-412-4435 FAX.078-412-4436 〈日本共産党県会議員団控室〉TEL.078-341-7711 FAX.078-351-3139

きだゆいプロフィール ● 1970年生まれ。神戸女子薬科大学卒。薬剤師。東神戸病院などに勤務。

● 渦森台在住。家族は夫、小学生の女の子2人 Facebook・Twitter・ブログ発信中

きだ結

検索



イノシシ被害をなくしましょう



東灘区でイノシシによる人身被害がひん発しています

(表参照)。

日本共産党は被害根絶へ向けて9月6日、「イノシシ問題を考えるシンポジウム」を東灘区民センターで開きました。住民90人が参加され、盛況でした。



きだ結と西ただす市議も報告し、松本のり子市議が司会しました。

シンポジウムを開催しました

東灘区 人身被害件数の推移

(区役所に連絡があった分)

2013年度	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
	件	1	1	0	4	1	2	4
2014年度	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
	件	3	5	10	11	8		

神戸のイノシシは人に向かってくる

兵庫県森林動物研究センター主任研究員で兵庫県立大学准教授の横山真弓氏が基調講演しました。

「大都市に大型の野生動物がいるのは世界でも珍しい」と指摘。六甲山は食物が豊富にもかかわらず、餌付けによって栄養価の高い食物が市街地に多くあると学んだイノシシはくり返し出没し、人を襲うようになると説明しました。

「田舎のイノシシは人を見ると逃げるけど、神戸のイノシシは向かってきます。森林で暮らす本来の姿に戻すことが真の共存。餌付けをなくすることが必要です」と強調しました。

東灘区 イノシシによる人身被害の内容の一部

(新聞報道より。主に岡本。いずれも2014年、午後7時半～11時半の間)

5月25日 男性(39)と妻(39)が背後から襲われ、牙が男性のふくらはぎと妻の左太ももに当たった

28日 帰宅中の男性(26)が後方から追突され、でん部を負傷。

6月16日 スーパーの袋を持っていた女性(49)が追いかけられ、左脚ふくらはぎをかまれる

17日 帰宅中の男性(44)が左脚の付け根をかまれ、ズボンが約5センチ破れる

15～18日 岡本で4夜連続で住民が襲われる

7月6日 歩いていた女性会社員(30)が背後から体当たりされ、でん部をかまれる

8月7日 女性(74)が玄関に置いていた箱に牛乳の空き瓶を入れようとした際、でん部をかまれる

9月3日 帰宅中の女性(58)がバッグをかまれて引っ張られ、転倒。足首などを負傷

4日 帰宅中の女性(49)がゴミステーションにいたイノシシに右手をかまれる

署名にご協力を

シンポジウムで日本共産党は、人身被害をなくすための署名運動を呼びかけました。ぜひご協力ください！



『イノシシ被害をなくしましょう』と署名を呼びかけ(左から松本市議、きだ結)

署名の要望項目

—兵庫県と神戸市に求めます—

- ▽ 餌付け禁止・ゴミ出しマナー徹底のため具体的に実効ある対策を
- ▽ 山から降りてこないようネット柵の設置を
- ▽ 専門の部署を新設し総合的対策を